

# コンパクトクールキット 取扱説明書

(ステアリングシステム下マウント)

適応車種	モンキー・ゴリラ モンキー (FI)	対象クラッチカバー	◎弊社製スペシャルクラッチカバー 砂型鑄造製 / ダイカスト製 (プライマリー含む) / TYPE-R (WET/DRY) ◎弊社製乾式クラッチカバー 2 型 (ver.1/ver.2)
		適応条件	◎弊社Φ 27 正立フロントフォーク装着車 ◎弊社Φ 30 正立フロントフォーク装着車

◎スリムラインホース	
対象クラッチカバーオイルフィルター オイルクーラー本体固定場所 ステアリングシステム下マウント	
製品番号	07-07-0405 (4 フィン) 07-07-0406 (3 フィン)

◎ブレードホース (#4)	
対象クラッチカバーオイルフィルター オイルクーラー本体固定場所 ステアリングシステム下マウント	
製品番号	07-07-0377 (4 フィン) 07-07-0378 (3 フィン)

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。  
使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。  
万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合があります。予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。
- ◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎当製品は、上記適応車種の車両専用部品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。
- ◎製品には、エッジや突起がある場合があります。必ず作業手袋を着用し作業を行って下さい。  
(説明書内で作業手袋未着用の写真がある場合でも、作業時は作業手袋等を着用して下さい。)
- ◎アルマイト製品は経年変化等により、色褪せる事があります。予めご了承下さい。
- ◎オイル量は通常規定オイル量に 4 フィン：約 60cc / 3 フィン：約 40cc 追加して下さい。
- ◎弊社製ステアリングダンパーと同時装着可能 (※モンキー FI を除く)
- ◎当製品を使用すると、ノーマルマフラー及びアップタイプマフラーが使用出来なくなります。
- ◎スペシャルクラッチカバー (ダイカスト) に使用する場合、サーモスタットユニット及びオイルホールプラグの同時装着は出来ません。  
同時装着した場合オイルが循環せず、重大なエンジントラブルになります。
- ◎弊社製 4.5 インチペーパータイプヘッドライトと同時装着は出来ません。
- ◎弊社製スーパーオイルポンプキットのラインナップが有る車両に関しましては同時装着を推奨します。

～特徴～

冷却効果に優れたコンパクトクールを取り付ける事で、エンジンポアアップに伴う油温上昇を抑える事が出来ます。  
コンパクトクール本体は、オイルクーラープレート、ガードを標準装備。  
付属のオイルクーラーステーを使用し、ステアリングシステム下マウントでオイルクーラー本体を固定します。  
クーラー本体は 3 フィン 4 オイルラインと、4 フィン 5 オイルラインの 2 種類からお選び頂けます。  
オイルクーラーへのオイル取り出しは、弊社製対象クラッチカバーにあるオイルフィルター部に専用のユニットを装着する事で、オイルクーラーの取り出しが可能になります。

**注意** この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- 一般公道では、法定速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。  
(法定速度を超える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- 作業等を行う際は、必ず冷間時 (エンジン及びマフラーが冷えている時) に行ってください。(火傷の原因となります。)
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- 規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。)
- 製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、作業手袋等を着用し手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。(部品の脱落の原因となります。)
- ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。又、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。
- 走行前には必ずエンジンオイルが循環している事を確認してから走行して下さい。(エンジン損傷の原因となります。)

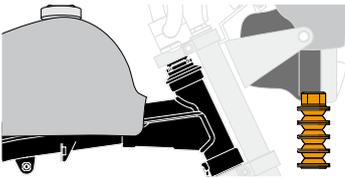
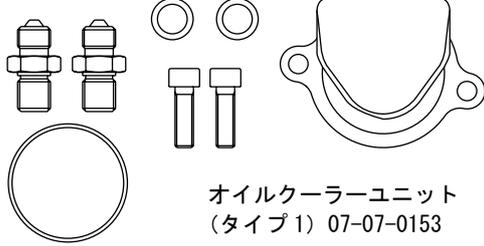
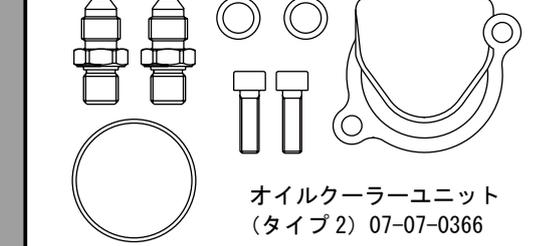
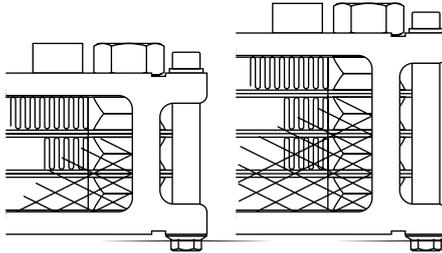
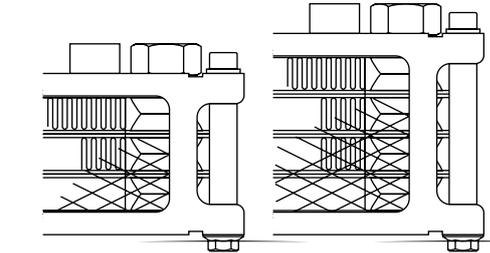
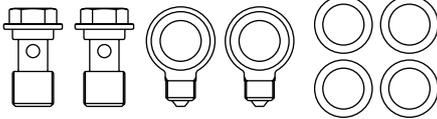
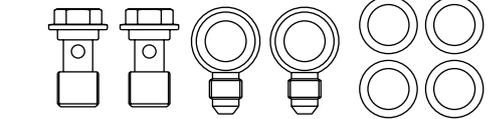
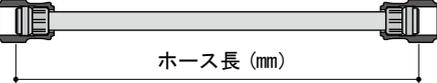
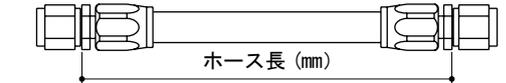
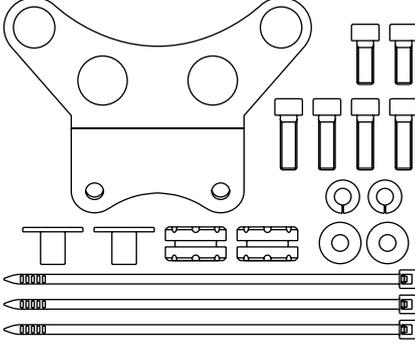
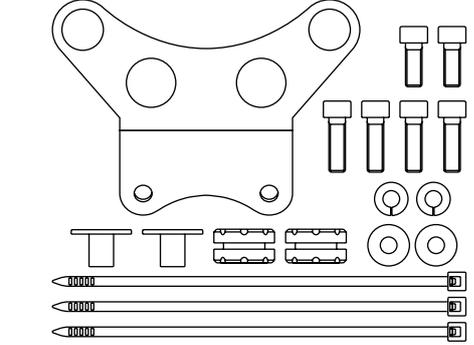
**警告** この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

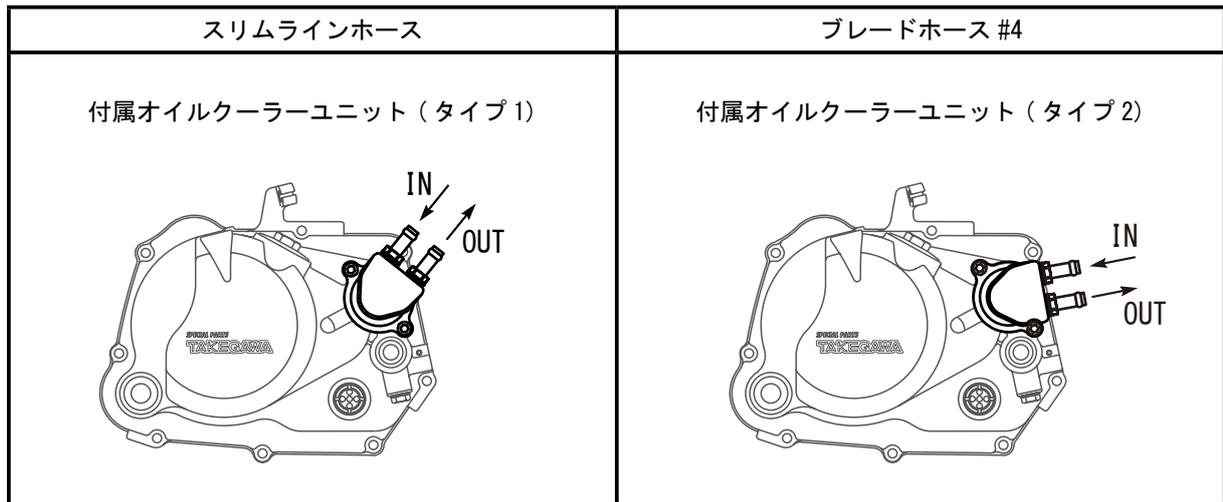
- エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。  
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- 点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。  
(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- 点検、整備等を行った際、損傷部品が見つかったら、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。(事故につながる恐れがあります。)

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。  
◎クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後 1 ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。  
但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。  
なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。  
◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいませお願い致します。

株式会社 スペシャルパーツ 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16  
TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>

	<p>製品内容：部品の詳細は各キットの説明書、及び製品ラベルでご確認下さい。</p> <p>オイルクーラー取付け場所：ステアリングシステム下マウント</p>	
	<p>製品名 / キット品番</p>	
	<p>コンパクトクーラーキット (スリムラインホース)  (SP 武川製スペシャルクラッチカバー  砂型鑄造製 / ダイカスト製 (プライマリー含む) /  TYPE-R (WET/DRY)  乾式クラッチカバー 2 型 ver. 1/ver. 2)  4 フィン 07-07-0405    3 フィン 07-07-0406</p>	<p>コンパクトクーラーキット (ブレードホース #4)  (SP 武川製スペシャルクラッチカバー  砂型鑄造製 / ダイカスト製 (プライマリー含む) /  TYPE-R (WET/DRY)  乾式クラッチカバー 2 型 ver. 1/ver. 2)  4 フィン 07-07-0377    3 フィン 07-07-0378</p>
<p>オイル取り出し口</p>	 <p>オイルクーラーユニット (タイプ 1) 07-07-0153</p>	 <p>オイルクーラーユニット (タイプ 2) 07-07-0366</p>
<p>オイルクーラー本体</p>	 <p>コンパクトクーラー 3 フィン (00-07-0124)    コンパクトクーラー 4 フィン (00-07-0104)</p>	 <p>コンパクトクーラー 3 フィン (00-07-0124)    コンパクトクーラー 4 フィン (00-07-0104)</p>
<p>バンジョー  フィッティング  (オイルクーラー側)</p>	 <p>バンジョーセット (M12/スリムライン用) (00-07-0135)</p>	 <p>バンジョーセット (AN#4/M12) (00-07-0184)</p>
<p>バンジョー  フィッティング</p>		
<p>ホース (ホース長)</p>	 <p>ホース長 (mm)</p> <p>スリムラインホース 505mm (00-07-0118)  スリムラインホース 505mm (00-07-0118)</p>	 <p>ホース長 (mm)</p> <p>ブレードホース #4 450mm (00-07-0214)  ブレードホース #4 500mm (00-07-0215)</p>
<p>オイルクーラーステーセット  (ステアリングシステム下マウント)</p>	 <p>オイルクーラーステーキット (00-07-0213)</p>	 <p>オイルクーラーステーキット (00-07-0213)</p>



弊社製クラッチカバー一覧

オイルクーラーユニットの 取付け可能なクラッチカバー一覧		
	クラッチカバー名	クラッチカバー形状
現行品	スペシャルクラッチカバー TYPE-R (WET/DRY)	
	スペシャルクラッチカバー (ダイカスト製) ※プライマリー含む	
旧タイプ	スペシャルクラッチカバー TYPE-R (WET/DRY)	
	乾式クラッチカバー (2型 /ver. 1)	
	乾式クラッチカバー (2型 /ver. 2)	

オイルクーラーユニットの 取付けが出来ないクラッチカバー一覧		
	クラッチカバー名	クラッチカバー形状
旧タイプ	スペシャルクラッチカバー (砂型鑄造製) (オイルフィルター無し)	× 
	乾式クラッチカバー (2型 /ver. 1)	× 

©この取扱説明書は弊社ホームページに PDF データーでアップしております。  
印刷では表記が読みにくい等ございましたら弊社ホームページにてダウンロードしご確認下さい。



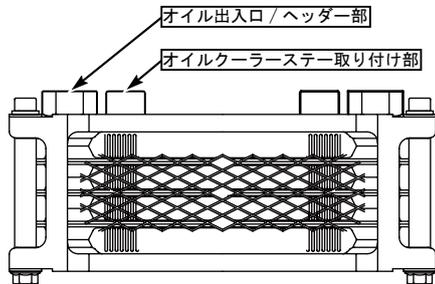
■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

## ■対象製品 コンパクトクールキット ステアリングシステム下マウント 共通組み付け事項

対象クラッチカバー SP 武川製スペシャルクラッチカバー 砂型鋳造製 / ダイカスト製 (プライマリー含む) / TYPE-R (WET/DRY)  
乾式クラッチカバー 2 型 ver. 1/ver. 2

### ■オイルクーラー本体 オイル出入口の方向と組み付け

■オイルクーラーのオイル出入口の方向を確認  
下図のようにオイルクーラーステー取り付け部  
とオイル出入口が上になっているか確認しま  
す。(弊社出荷時は下図のようになってます)



■バンジョー、バンジョーボルトの組み付け  
オイルクーラー本体のオイル出入口に下図 A の  
順 (シーリングワッシャー、バンジョー、シー  
リングワッシャー、バンジョーボルト) で仮止めし  
ます。

⚠注意 オイル出入口にはズレ防止用の溝があり  
ます。(下図 B) この溝にシーリングワッシャ  
を確実に収めて下さい。  
溝に収めていない状態で、組み付けるとオ  
イル漏れの原因となります。

図 A

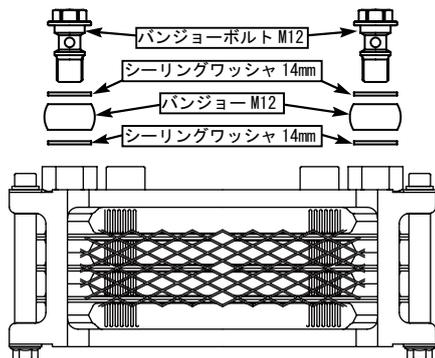
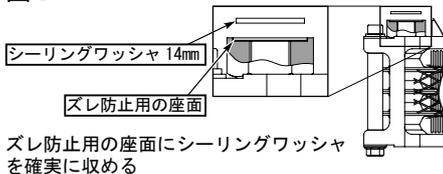


図 B (座面断面図)



■バンジョーボルトのトルク締めについて  
オイル取り出し口とホースを接続し、ホースの  
取り回し確定後に規定トルク締めを行います。

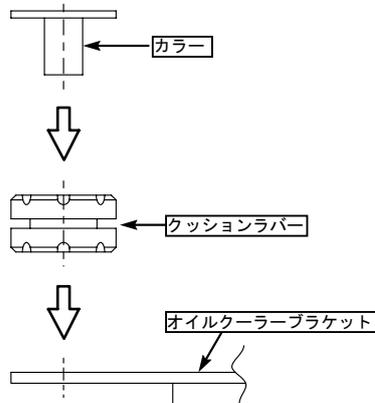
⚠注意 バンジョーボルト締め付け時は、オイル  
クーラーヘッダー部分に必ずスパナ等を  
掛けて固定して下さい。

⚠注意: 必ず規定トルクを守る事。  
バンジョーボルト M12  
トルク: 22.5N・m (2.3kgf・m)

### ■オイルクーラーステーとオイルクーラー本体の組み付け

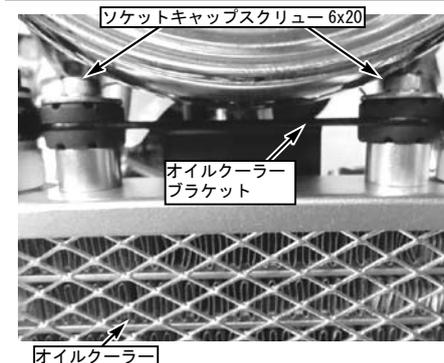
■平坦で足場のしっかりした場所で車両を安定  
させます。

■オイルクーラーブラケットにクッションラバー  
を取り付け、クッションラバーにカラーを取り  
付けます。



■ソケットキャップスクリュー 6x20 を用いて  
オイルクーラーブラケットにオイルクーラーを  
取り付け締め付けます。

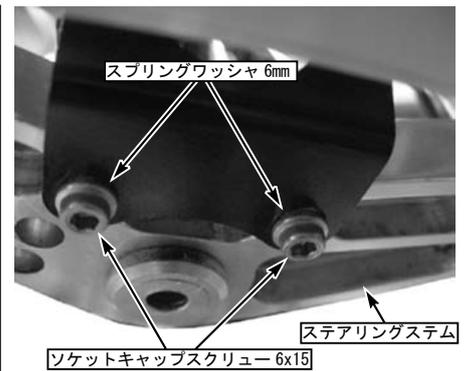
⚠注意: 必ず規定トルクを守る事。  
ソケットキャップスクリュー  
トルク: 8N・m (0.8kgf・m)



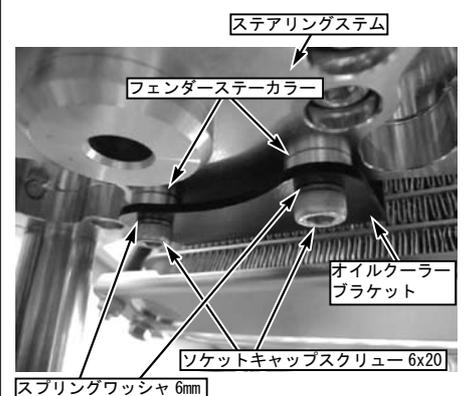
■ステアリングシステムにオイルクーラーブラケット  
をスプリングワッシャー 6mm、ソケットキャッ  
プスクリュー 6x15 を用いて取り付け締め付けます。

⚠注意: 必ず規定トルクを守る事。  
ソケットキャップスクリュー  
トルク: 12N・m (1.2kgf・m)

※弊社製ヘッドライトステーφ 27 用 (取り付  
け幅 155mm) 又はφ 30 用 (取り付け幅 155mm)  
と 2 連タイプのスピード&タコメーター及び  
スーパーマルチ M1 ステー同時装着時、ヘッ  
ドライトとソケットキャップスクリュー 6x20  
が干渉する為、ステアリングシステムとオイル  
クーラーブラケットの間にフェンダーステー  
カラーを挟み、ソケットキャップスクリュー  
6x20、スプリングワッシャー 6mm を用いて取  
り付けます。



★ヘッドライトステー取り付け時



■オイルホースを取り回しオイルクーラーと  
接続します。  
(各専用のキットの取扱説明書の指示に従い  
作業を行って下さい。)

⚠注意 バンジョーボルトの締め付けは、オイル  
クーラーヘッダー (6 角部分) に必ずスパナ  
等をかけた状態でバンジョー M12 を動か  
ない様固定して行って下さい。

⚠注意: 必ず規定トルクを守る事。  
バンジョーボルト M12  
トルク: 22.5N・m (2.3kgf・m)



■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

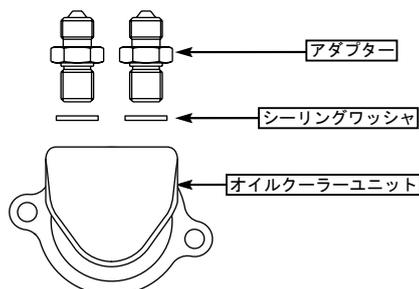
## ■対象製品 コンパクトクールキット（スリムラインホース） 4フィン 07-07-0405 3フィン 07-07-0406

対象クラッチカバー SP 武川製スペシャルクラッチカバー 砂型鑄造製 / ダイカスト製（プライマリー含む）/TYPE-R（WET/DRY）  
乾式クラッチカバー 2型 ver. 1/ver. 2)

### ■オイルクーラーユニット（タイプ1）の組み付け

■オイルフィルターカバーの取り外し  
オイルの受け皿を用意し、弊社製クラッチカバーにあるオイルフィルターカバーのキャップスクリュー2本を取り外します。これにより、オイルフィルターカバー、オイルフィルターが外れます。  
※フィルターカバーを外すとエンジンオイルが出てきますのでご注意ください。  
※オイルのにじみ等の原因となる為、ケース内に残っているオイル及び0リング当たり面のオイルを拭き取って下さい。

■アダプターの取り付け  
アダプターにシーリングワッシャを入れ、オイルクーラーユニット COMP. に取り付け、締め付けます。



▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
アダプター  
トルク：13N・m (1.3kgf・m)

■0リングの取り付け  
アダプターを取り付けたオイルクーラーユニット COMP. に0リングを取り付けます。

▲注意：0リングは、分解毎に必ず新品と交換して下さい。（再使用した場合、オイル漏れ等によるトラブルの原因となります。）

■オイルクーラーユニット COMP. の取り付け  
オイルクーラーユニット COMP. へ装着した0リング部に薄くエンジンオイルを塗布します。オイルクーラーユニットの突起部にオイルフィルターを差し込みます。クラッチカバー側にスプリングが入っている事を確認し、オイルクーラーユニット COMP. とエアフィルターを共にクラッチカバー（オイルフィルター）へ差し込みます。ソケットキャップスクリューを使用し、規定トルクで締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
ソケットキャップスクリュー  
トルク：10N・m (1.0kgf・m)

※クーラーユニット取り付け時に0リングのかみ込みに注意して下さい。  
※エンジン始動後は、オイルクーラーやクーラーユニット等が高温になりますので十分注意して下さい。

▲注意：スペシャルクラッチカバー（ダイカスト製）に使用する場合はご注意ください。

スペシャルクラッチカバー（ダイカスト製マグネシウム / ダイカスト製アルミニウム）にご使用の場合、サーモスタットユニット、及びオイルホールプラグとは同時に使用しないで下さい。同時に使用した場合、エンジンオイルが循環せず重大なエンジントラブルとなります。

### ■スリムラインホースの組み付け

■オイルクーラー本体とオイル取り出し口をスリムラインホースで接続します。  
■オイルクーラーユニット側  
オイルホース 505mm をオイルクーラーユニットの下側に、オイルホース 505mm を上側に取り付け、締め付けます。  
■オイルクーラー側  
オイルホース 505mm をオイルクーラーの右側に、オイルホース 505mm を左側に取り付け、締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
スリムラインホース（フィッティング）  
トルク：6N・m (0.6kgf・m)

バンジョー M12 の向きを調整し、バンジョーボルト M12x1.0 を締め付けます。

▲注意：バンジョーボルト締め付け時は、必ずオイルクーラーヘッダーにスパナ等を掛けて締め付けて下さい。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
バンジョーボルト M12  
トルク：22.5N・m (2.3kgf・m)

■各部の緩みがないかチェックします。  
ホースを束ねる必要がある場合は、付属の結束バンドをご使用下さい。

■各部のチェックとヘッドライトユニットの取り付け  
ヘッドライトユニットの取り扱い説明書に従い取り付けを行って下さい。

■オイル量の調整とエンジン始動  
4フィンは60cc、3フィンは40cc程度エンジンオイルを追加し、エンジンを始動します。  
各部にオイル漏れが無い事を確認しエンジンを止め、約1分後オイルレベルゲージで基準範囲内にあるかを確認します。少ない場合は補充します。

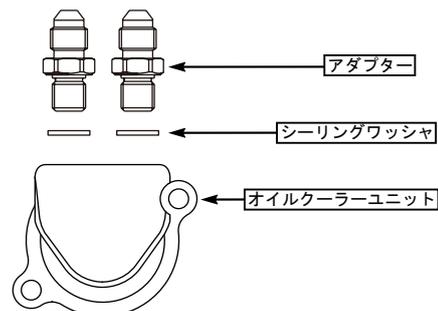
## ■対象製品 コンパクトクールキット（ブレードホース #4） 4フィン 07-07-0377 3フィン 07-07-0378

対象クラッチカバー SP 武川製スペシャルクラッチカバー 砂型鑄造製 / ダイカスト製（プライマリー含む）/TYPE-R（WET/DRY）  
乾式クラッチカバー 2型 ver. 1/ver. 2)

### ■オイルクーラーユニット（タイプ2）の組み付け

■オイルフィルターカバーの取り外し  
オイルの受け皿を用意し、弊社製クラッチカバーにあるオイルフィルターカバーのキャップスクリュー2本を取り外します。これにより、オイルフィルターカバー、オイルフィルターが外れます。  
※フィルターカバーを外すとエンジンオイルが出てきますのでご注意ください。  
※オイルのにじみ等の原因となる為、ケース内に残っているオイル及び0リング当たり面のオイルを拭き取って下さい。

■アダプターの取り付け  
アダプターにシーリングワッシャを入れ、オイルクーラーユニット COMP. に取り付け、締め付けます。



▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
アダプター  
トルク：13N・m (1.3kgf・m)

■0リングの取り付け  
アダプターを取り付けたオイルクーラーユニット COMP. に0リングを取り付けます。

▲注意：0リングは、分解毎に必ず新品と交換して下さい。（再使用した場合、オイル漏れ等によるトラブルの原因となります。）

■オイルクーラーユニット COMP. の取り付け  
オイルクーラーユニット COMP. へ装着した0リング部に薄くエンジンオイルを塗布します。オイルクーラーユニットの突起部にオイルフィルターを差し込みます。クラッチカバー側にスプリングが入っている事を確認し、オイルクーラーユニット COMP. とエアフィルターを共にクラッチカバー（オイルフィルター）へ差し込みます。ソケットキャップスクリューを使用し、規定トルクで締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
ソケットキャップスクリュー  
トルク：10N・m (1.0kgf・m)

※クーラーユニット取り付け時に0リングのかみ込みに注意して下さい。  
※エンジン始動後は、オイルクーラーやクーラーユニット等が高温になりますので十分注意して下さい。

▲注意：スペシャルクラッチカバー（ダイカスト製）に使用する場合はご注意ください。

スペシャルクラッチカバー（ダイカスト製マグネシウム / ダイカスト製アルミニウム）にご使用の場合、サーモスタットユニット、及びオイルホールプラグとは同時に使用しないで下さい。同時に使用した場合、エンジンオイルが循環せず重大なエンジントラブルとなります。

### ■ブレードホース #4 の組み付け

■オイルクーラー本体とオイル取り出し口をブレードホース #4 で接続します。  
■オイルクーラーユニット側  
オイルホース 500mm をオイルクーラーユニットの下側に、オイルホース 450mm を上側に取り付け、締め付けます。  
■オイルクーラー側  
オイルホース 450mm をオイルクーラーの右側に、オイルホース 500mm を左側に取り付け、締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
ブレードホース #4（フィッティング）  
トルク：10N・m (1.0kgf・m)

バンジョー M12 の向きを調整し、バンジョーボルト M12x1.0 を締め付けます。

▲注意：バンジョーボルト締め付け時は、必ずオイルクーラーヘッダーにスパナ等を掛けて締め付けて下さい。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
バンジョーボルト M12  
トルク：22.5N・m (2.3kgf・m)

■各部の緩みがないかチェックします。  
ホースを束ねる必要がある場合は、付属の結束バンドをご使用下さい。

■各部のチェックとヘッドライトユニットの取り付け  
ヘッドライトユニットの取り扱い説明書に従い取り付けを行って下さい。

■オイル量の調整とエンジン始動  
4フィンは60cc、3フィンは40cc程度エンジンオイルを追加し、エンジンを始動します。  
各部にオイル漏れが無い事を確認しエンジンを止め、約1分後オイルレベルゲージで基準範囲内にあるかを確認します。少ない場合は補充します。